

三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすキッカケにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座

会場：サン・ワーク津（津市）

ESD入門～持続可能な社会をめざして～

開催日	平成28年1月9日(土)	締切	11月30日(月)
内容	◇ESDとは(講義) ◇参加体験型プログラムで持続可能な社会について考える。		

アクティビティ体験コース

開催日	平成28年1月24日(日)	締切	12月16日(水)
内容	◇自然界におけるさまざまなつながりに気づく。 ◇自己がどのように地域社会や世界とつながっているか理解する。		

ファシリテーター養成コース

開催日	①平成28年2月14日(日) ②2月21日(日) ③2月28日(日)	締切	1月15日(金)
内容	◇持続可能な開発のための原則をおさえ、環境学習に取り組む目的を確認する。 ◇流れのあるプログラムを体験し、手法やファシリテーションについて学ぶ。 ◇プログラムづくりの過程を学び、環境学習のビジョンを達成するプログラムをつくる。		

こども環境講座 ミニ門松づくり

12月13日(日)開催

会場	三重県環境学習情報センター（四日市市）	締切	11月13日(金)
内容	地域で里山整備を行っている方のお話を聞いた後、ミニ門松を作ります。（門松の高さは約15cmの予定）		

環境県民講座 伊勢湾の再生を考える

②10月18日(日) ③12月12日(土) ④平成28年2月7日(日)
全4回 開催 ※①は終了しました

会場	三重県総合博物館（津市）	締切	②先着順 他はチラシ参照
内容	赤潮等の発生、干潟や自然海岸の減少、漂流・漂着ごみなど多くの問題がある伊勢湾について現状を知り、どう行動すべきか考えます。		

環境講座 冬のバードウォッチング

申込先：三重県上野森林公園

平成28年1月16日(土)開催

会場	三重県上野森林公園（伊賀市）	申込期間	12月17日(木)～ 1月7日(木)先着順
内容	冬の上野森林公園を歩いて、池のカモや林の小鳥たちを観察します。マガモ、エナガ、メジロ、コゲラ、ツグミ、シロハラなどが見られるかもしれません。		

スキルアップ講座 生態学シリーズ「共存と絶滅」

②10月31日(土) ③12月5日(土) ④平成28年2月13日(土)
全4回 開催 ※①は終了しました

会場	②③三重県総合博物館（津市） ④三重県総合文化センター（津市）		
内容	②恐竜の繁栄 ③恐竜の絶滅 ④生物多様性	締切	②先着順 他はチラシ参照

スキルアップ講座 地層・化石から読み解く 太古の自然環境

11月23日(月・祝)開催

会場	三重県総合博物館（津市）	締切	10月27日(火)
内容	化石から推察される太古の環境(古環境)や環境の変遷についてお話いただきます。テキストとして、図録「でかいぞミエゾウ!～化石が語るミエゾウの世界～」が必要です。		

スキルアップ講座 平野部を流れる川の自然と環境保全 ～祓川の事例を中心に～

平成28年1月10日(日)開催

会場	三重県総合博物館（津市）	締切	12月8日(火)
内容	一部が「三重県自然環境保全地域」にも指定されている祓川の自然環境や生物、地域の方々为主体となった環境保全活動についてお話いただきます。		

スキルアップ講座 ごみ減量の現場をみる ～ホテル戸田家の取り組み～

平成28年1月30日(土)開催

会場	ホテル戸田家（鳥羽市）	締切	12月21日(月)
内容	◇戸田家の「ごみ減量の取り組み」のお話 ◇館内見学及び質疑応答		

スキルアップ講座 ニホンジカが生物多様性に 与える影響

平成28年2月6日(土)開催

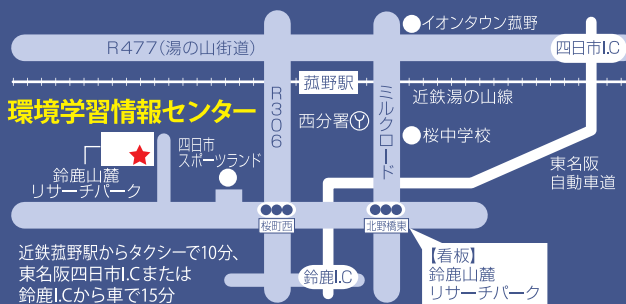
会場	三重県総合文化センター（津市）	締切	1月12日(火)
内容	シカが増加している現在、シカが農林産物だけでなく生物多様性に与える影響などについてお話いただきます。		

講座予定

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい



f Facebook @eco_zou

編集後記：初めての化石採取では収穫が何も無く…。しかし、すぐそばから350万年前のワニの歯の化石が!! 間近に見るチャンスに恵まれ、その時代の自然環境のようすを想像すると、とても不思議な気持ちになりました。編集・制作・撮影：後藤綾水、大橋京子